

RCCの名称：半田国際交流ネット

1. 活動目標

外国人の人たちと親睦と理解を深めるには、より多くの外国人に接することです。このため、半田国際交流ボランティアクラブに、新グループ「半田国際交流ネット」を設立し、地域における国際交流活動のネットワーク化を推進することにしました。このグループは、地域の人々や諸団体に関する情報の提供、活動の支援、そして相互の交流から共同活動へ交際交流の活性化を積極的に促進しようとするものです。

2. 活動状況の一例

(1) 外国人弁論大会 2006年1月

日本福祉大学半田キャンパスにて第1回外国人弁論大会を行ないました。出場者7名3ヶ国)で、金賞はペルーの広瀬コリーナさんでした。



(2) ガイドブック製作についての打合せ 2006年4月

「知多半島生活ガイドブック」製作についての打合せを、半田国際交流協会にて行った。

(3) 総会の開催 2006年4月

半田国際交流ボランティア総会を開催した。

(4) 日本福祉大学の新留学生との昼食会 2006年4月

日本福祉大学新留学生と留学生会の役員、日本福祉大学の担当職員、支援ボランティアとの顔合わせの昼食会を行ないました。

(5) 日本福祉大学の新生歓迎会 2006年5月

日本福祉大学半田キャンパスの
新入留学生の歓迎会、今年は
伊勢神宮に行きました。留学生4名、
隊員4名、日本福祉大学職員1名が
参加した。



(6) 七夕まつりに参加 2006年7月

日本福祉大学半田キャンパス学部祭「七夕まつり」に参加、模擬店にて焼き肉
30キロを販売した。

(7) 半田市の市民盆踊りに参加 2006年8月

半田市主催の市民盆踊りに参加。外国人が浴衣をきて盆踊りを楽しみました。
隊員も含め約40名が参加した。

(8) ガイドブック製作 2006年9月

「知多半島生活ガイドブック」の日本語版の原稿を印刷会社に渡し、ガイド
ブックの翻訳の依頼をおえる。英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル
語の五カ国語で制作する。

(9) 日中文化交流 2006年10月

- ① 若希氏来日で、雁宿ホールにて歓迎会を開催し、馬頭琴の演奏をしていただいた。



② 内モンゴル絵画展を日本福祉大学半田キャンパス、中部電力ワットや名古屋国際センターにて開催した。

